

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
下妻地方広域事務組合	下妻市、常総市(石下地区)、八千代町	平成23年4月1日～平成31年3月31日	平成23年度～30年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標		現状(割合※1) (平成21年度)	目標(割合※1) (平成30年度)A	実績(割合※1) (平成30年度)B	実績B /目標A
排出量	事業系 総排出量	6,489t	6,139t (-5.4%)	7,456t (14.9%)	121.5%
	1事業所当たりの排出量	1.33t	1.25t (-6.0%)	1.75t (31.6%)	140.0%
	家庭系 総排出量	19,677t	18,752t (-4.7%)	19,038t (-3.2%)	101.5%
	1人当たりの排出量	197kg/人	190kg/人(-3.6%)	198kg/人(0.5%)	104.2%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	26,166t	24,891t (-4.9%)	26,503t (1.3%)	106.5%
再生利用量	直接資源化量	1,379t (5.3%)	1,554t (6.2%)	1,146t (4.3%)	73.7%
	総資源化量	3,086t (11.8%)	3,205t (12.9%)	2,565t (9.7%)	80.0%
最終処分量	埋立最終処分量	4,163t (15.9%)	3,917t (15.7%)	4,062t (15.3%)	103.7%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

2 目標が達成できなかった要因

【ごみ処理】

計画期間において、排出量、再生利用量、最終処分量が減量化以外の項目で目標を達成することができなかった。
排出量について事業系ごみ増加が大きな要因であり、事業所に対し排出抑制と分別の徹底を周知したが効果がなかった。家庭系ごみは減少傾向にあったが、平成23年の東日本大震災、平成27年の常総市の水害など自然災害によって、構成市町内で片付けごみが大量発生し搬入量に影響を及ぼした。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和5年度まで

構成市町内で排出されたごみの適正処理及び循環型社会の構築を目指して、平成23年度から平成37年度(令和7年度)までのごみ処理基本計画を策定した
ものについて中間見直しを行い、平成30年度を初年度とし平成37年度(令和7年度)までの8年間とした。目標達成年度も同様に平成37年度(令和7年度)と
する。それを元に地域計画を作成し、平成30年度から平成34年度までの5年間とし目標達成年度令和5年とする。

○排出量

事業系ごみの排出量増加に対して抜本的な改善策を構成市町と組合で連携して模索し目標達成を目指していくこととする。

○再生利用量

資源ごみの分別を徹底し住民・事業所に周知し協力を求めていくこととする。小型家電回収等の分別を強化し再生利用量の増加につなげる。

○最終処分量

上記の排出量を減少・再生利用量の増加を目指し推進していくことで、最終処分量の削減が図られる見込みである。

(都道府県知事の所見)

廃棄物の発生抑制や再使用のための施策、適正な収集・運搬、中間処理・再資源化を推進するうえで、当該組合と構成市町で調整・連携強化を積極的に図り、
今後の目標を相互に共有することで、目標達成に向けた取り組みを推進していくことが重要であると思料する。